

第42回理事会・第21回社員総会 議決

令和3年度

事業報告書

令和3年4月1日から

令和4年3月31日まで

公益社団法人 北之台雅楽アンサンブル

【基本方針】

- (1) 公益目的事業Ⅰ—国内雅楽演奏会等の開催
- (2) 公益目的事業Ⅱ—海外雅楽公演等の開催
- (3) 公益目的事業Ⅲ—教育機関等における雅楽紹介
- (4) 管理・広報部門の充実（法人活動）

【具体的事業】

1. 公益目的事業Ⅰ—国内雅楽演奏会等の開催

① 国内雅楽演奏会

【事業名1：地域における雅楽の振興】

当該事業は新型コロナウイルス感染症拡大の為、実施されなかった。

② 雅楽に関する講演会

【事業名1：第12回「雅楽と国際文化交流」】

a. 事業の趣旨：

当該事業は、国内外の各界の有識者を招聘し、日本文化を中心に多岐に渉るテーマについて講演を行い、国際文化交流を推進すると共に、日本の伝統文化である雅楽の紹介を願いとした。

昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の拡大が収まらぬ中、「世界の和音によるコロナ収束を願う」をテーマに、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束を祈念する演奏会とした。

b. 日 時：令和3年10月15日（金）15時開演、16時半終了

c. 場 所：東京大学伊藤謝恩ホール（東京、本郷）

d. 参加人数：招待者、東京大学学内教員・学生、学外一般を含め89名 ※新型コロナウイルス感染対策上、参加者を限定

e. 登録料：全席事前予約 一般2,000円、学生1,000円

f. 内 容：講演と雅楽演奏

第一部 講演

講師：羽田野直道教授（東京大学）

テーマ：「和音の科学」

第二部 雅楽演奏

演奏：公益社団法人北之台雅楽アンサンブル

特別出演：安齋省吾・元宮内庁楽部首席楽長（笛）、

日向由子（歌）、ひなたおさむ（歌）

管絃：「壺越調音取」「賀殿急」

舞楽：「輪臺・青海波」

歌謡：「越殿楽今様」「さくらさくら」

g. 主 催：公益社団法人北之台雅楽アンサンブル

h. 後 援：東京大学生産技術研究所

i. 反響・特記事項：

- ・物理学の公式に基いた定義のもと和音の構成をわかりやすく解説され、大変勉強になった。
- ・東西の和音と不協和音の嗜好についての考察がとても興味深かった。不協和音は、平安時代の雅楽や現代のストラビンスキーの「春の祭典」、あるいはロックミュージックにも認められ、歴史的な比較が大変興味深かった。
- ・素晴らしい雅楽の調べと優雅な舞を堪能できた。
- ・由緒ある東大伊藤謝恩ホールで公演を実現され感銘した。
- ・本公演は専門スタッフによる録画を行い、終了後 YouTube 配信した。

2. 公益目的事業Ⅱ—海外雅楽公演等の開催

① 海外雅楽公演及びそれに伴う事業

【事業名 1：2021 欧州公演】

当該事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の為、2022 年度に延期とし、「2022 スイス・パリ雅楽公演」として実施予定である。

② 海外における教育機関における雅楽演奏会、日本文化体験教室

対象事業はない

3. 公益目的事業Ⅲ—教育機関等における雅楽紹介

① 雅楽演奏会

対象事業はない。

② 雅楽体験教室

【事業名 1：伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業 千葉県庁委託事業】

a. 事業の趣旨：

当該事業は、千葉県環境生活部県民生活・文化課策定の「伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業」実施要項に基づき実施した。千葉県内の小中学校の児童・生徒を対象に、邦楽理解の向上と伝統的音楽文化の普及・振興、並びに邦楽における後継者育成に寄与することを願いとしました。

b. 日時・場所・参加数：

①	令和3年9月21日	八街市立二州小学校	116名
②	令和3年9月28日	松戸市立常盤平第二小学校	71名
③	令和3年10月29日	市川市立稲越小学校	97名
④	令和3年11月26日	柏市立高田小学校	80名
⑤	令和3年12月7日	富津市立天羽小学校	80名
⑥	令和3年12月9日	館山市立西岬小学校	52名
⑦	令和4年1月13日	茂原市立茂原小学校	52名

合計 548名

c. 内容：

① 鑑賞

- ・雅楽鑑賞 管絃「楽器紹介」「平調音取」「越殿楽」
- ・舞楽鑑賞 舞楽「甘州」

② 舞楽体験

- ・生徒が間隔を空けて、装束、舞振りの説明を受けた後、舞人の手本を基に舞振りを体験した。

d. 出向人員：楽人 11名、舞人 4名、スタッフ 8名 計 23名

e. 反響：

- ・千年の歴史を持つ雅楽を聞いて感動しました。静かに聞いていると心がとても安らぐ音楽であると感じました。
- ・どの楽器もすごくきれいな音を奏でていて、全ての楽器が合わさると日本風で「和」な音楽でした。ゆっくりで、あまりリズムのない自由な旋律の音楽なのに、全ての楽器の息が合っていてすごかったです。初めて見た楽器もあって、弾いてみたいと思いました。
- ・音に合わせての舞の練習がとてもよかったです。最初は難しかったけれど、だんだん出来るようになるにつれて、とても楽しくなっていた。ゆっくりと音楽に合わせて動き、手の形も特殊形で、足の踏み方や移動の仕方今までに見たことのないような不思議なものでした。
- ・素敵な雅楽を見せていただき有難うございました。児童、教師共々、有意義な時間となりました。やはり本物にふれることは、

感性が磨かれ、子どもたちの成長には欠かせません。

【事業名 2 : 小中高校における雅楽体験教室】

対象事業はない

③ 雅楽研修会

【事業名 1 : 清泉女子大学夏季集中講座】

a. 事業の趣旨 :

清泉女子大学日本語日本文学科より要請を受け、同学科が各分野の専門家を招聘して毎年実施する「日本芸能文化」の授業の一環として実施した。本集中講座への参加を通し、同校学生の雅楽への理解を深めることを願いとした。

新型コロナウイルス感染症拡大による、緊急事態宣言発令の中、オンライン受講枠を設ける等、万全な感染防止対策を行った。

b. 日 時 : 令和 3 年 9 月 13 日 (月) ~16 日 (木)

期間中毎日、3 講義を実施

- ・ 1 限 10:55~12:40
- ・ 2 限 13:40~15:25
- ・ 3 限 15:35~17:20

c. 場 所 : 清泉女子大学講堂ならびに教室

d. 受講人数 : 同校日本語日本文学科学生 112 名

(対面受講 67 名、オンライン受講 45 名)

e. 内 容 : 「源氏物語と雅楽」をテーマとした。

- ・ 雅楽に関する講義
「御神楽について」 安齋省吾・元宮内庁楽部首席楽長
「源氏物語と五節の舞」「源氏物語と青海波」 藤井由紀子准教授
「雅楽について」 井口陽一郎理事長
- ・ 雅楽の実演
管絃 : 管絃六調子、「双調陵王」
舞楽 : 「甘州」「五節の舞」「迦陵頻」「胡蝶」「陵王」
「輪臺・青海波」
歌謡 : 催馬楽「更衣」、朗詠「嘉辰」「紅葉」
「越殿楽今様」「さくらさくら」

・ 楽器紹介、楽器体験

- ・ 舞楽体験

f. 派遣人員 : 楽人 11 名、舞人 4 名、スタッフ 8 名 計 23 名

特別出演：安齋省吾（元宮内庁楽部首席楽長）、日向由子（声楽家）
ひなたおさむ（声楽家）

g. 主 催：清泉女子大学日本語日本文学科

h. 反 響：

- ・ 日本に受け継がれている芸能文化というものをじっくり学ぶことのできる良い機会でした。雅楽のルーツである、唐や高麗を経て日本へ伝わり、それぞれの価値観や文化が入り交じり独自の音楽となっていたことに歴史のロマンや古代の人々との繋がりを感しました。
- ・ 雅楽は今まで言葉でしか知りませんでしたが、この授業を契機に理解を深めることができ良かったです。
- ・ 今日まで受け継がれて来たという事は、発案した人だけでなく、つなげようと尽力してきた多くの人々の存在があったという事なので、新しいものだけでなく伝統的なものも大切にすべきだと改めて実感しました。
- ・ 4日間で雅楽のすべてのジャンルを体験できるプログラムで、たくさんのお客様の先生方もお呼びいただき、学生たちにとっては、この上ない貴重な機会だったと思います。私どもも、仕事を忘れて、心から楽しませていただきました。

4. 管理・広報部門の充実（法人活動）

① 広報活動

- a. Web、情報誌、パンフレット、チラシを媒体としたPR活動の推進
- b. 賛助会員募集（個人会員）の推進
- c. 年会報（年一回）の作成（賛助会員配布用）

② 事務機能の充実

- a. 定款による事務業務の遂行

以 上